

平成28年台風第10号における岩手県久慈市の水防活動

○概要

久慈市消防団は、平成28年8月30日、台風第10号の影響に伴う集中豪雨に際し、団本部及び全分団(20分団)約1,300名が出動。市内では、降り始めからの雨量が278.5mm(气象台:下戸鎖)を観測する豪雨により河川が増水。

各地で越水により床上浸水等の被害を受ける危険な状況の中、河川水門閉鎖、排水作業、土のう積みや住民の避難誘導を行い人的被害の軽減のため活動した。

活動時間	出動延人数	主な活動内容
8/30~8/31 約30時間	約1,300名	<ul style="list-style-type: none">・水門閉鎖(49門)・排水作業(2箇所)・土のう積(箇所多数)・避難誘導(市内全域)・警戒広報(市内全域)・救助搬送補助(山根地区)



久慈川右岸内水排水作業



久慈川右岸内水排水作業



久慈川支川長内川の水防活動

新開橋付近では、堤防が低い場所に、地元の建設業者による大型土のう積みを行い、洪水に対し必要な高さ(断面)を確保。



久慈市消防団長
廣崎 康一

我々、久慈市消防団は今回の台風10号の豪雨災害において、人命第一で活動し、水門閉鎖、土嚢積み、排水作業、避難誘導など、市民の安全確保のため全力で昼夜問わず奔走しました。

今後においても、市民の生命と財産を守り、安心・安全な暮らしを確保するため、全力で活動をしていきます。